

## 次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	メタバース制作開始が遅く完成がまつり直前となったこと
引継ぎ 1	3月末に制作を開始して6月例会までに完成することが出来なかったため同程度規模のメタバース（制作者5名ほど）なら3か月の製作期間は必要であると思った。また今回制作ワールド内のオブジェクトについては別のプラットフォームでも運用できるので別の形で使用したい場合は株式会社モーゲンテックの吉松様に相談してください。
問題点 2	青年会議所メンバーだけでは良いアイデアが生まれなかったこと
引継ぎ 2	青年会議所メンバーのみで計画を話し合うより専門学生を多く入れて話し合いに参加してもらったところ考えてもみないアイデアが多くでてきて参考になった。例えば今回制作したメタバースではバーチャル秋葉原というメタバース作品をイメージして宮崎県庁付近をサイバー空間にするというアイデアを学生たちが考えました。
問題点 3	動画のアーカイブ配信での冒頭の取り忘れがあったこと
引継ぎ 3	今後動画を録画してアーカイブ配信する際にはZoomのURLを作る際設定のなかでオプション「ミーティングを自動的に録画」にチェックをしておくことで撮り忘れがなくなります。第2回の時にスタッフが少なく、冒頭部分撮り忘れがありました。Zoomで配信する機会は多くないので注意した方が良くと思います。
問題点 4	プラットフォームの選定を急いでしまったこと
引継ぎ 4	今回はまつりえれこっちゃで不特定多数のあまりメタバースを体験したことないような方を対象としたため誰でも簡単にアクセスしやすい「DOOR」を選択しましたが、ワールド内の質を高めたいなら「クラスター」や「VRチャット」などを選択する考えもあると思います。年々プラットフォームの数も増えてきているので目的と予算に合うものを吟味して選択した方が良くと思います。
問題点 5	6月例会メインアワーで音声のトラブルがあったこと
引継ぎ 5	考えられる原因としまして、参加者の音声設定に不備があったもしくは参加者の通信速度が遅かったことが考えられます。ATOMicaでは十分な通信速度があったため配信側のハード面は大丈夫だったと思いますが、事前の音声設定の案内と通信状況の良い場所やPCで参加してもらう案内が出来ていなかったと思います。
問題点 6	メディアを上手に利用できなかったこと
引継ぎ 6	NHK や UMK など複数のメディアでメタバースを取り上げてもらいましたが放送当日のPV数の伸びが著しかった。考える全てのメディアに時間に余裕がなく連絡が出来なかったため、余裕をもって制作できており別のメディアにも取り上げてもらってれば更なるPV数は見込めていたのではないかと思います。
問題点 7	6月例会の会場選定の候補が少なかった点
引継ぎ 7	ウェブ環境の強い会場について現在は ATOMica が有力です。今回の実地人数に合わせれば

	もう少しコンパクトな会場でも良かったのではないかと思います。現在多数ワーキングスペースが開設しているので予想来場人数をしっかりと把握し、人数に合う会場を選定できれば会場費を抑えることも可能でした。
<b>【予算面の問題・引継ぎ事項】</b>	
問題点 1	メタバース制作費用について
引継ぎ 1	今回株式会社モーゲンテック様に依頼したが、制作にあたり空間内のオブジェクト制作などを学校内の作品として専門学生に協力して作っていただいたので費用を安くしていただきました。通常であれば数倍の費用がかかると思うので注意が必要です。
問題点 2	メタバース講師について
引継ぎ 2	メタバース講師につきましては関東ブロック協議会のご紹介がありまして3回分の講演料を抑えることができました。ただし県外の講師で全て Zoom での講演だったためよく理解が出来ない部分もそのままになっていたため、1回は実地で行っても良かったと思う。